

# 成田市教育委員会会議事録

令和5年10月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和5年10月25日 開会：午後3時30分 閉会：午後4時7分

会 場 成田市役所3階 第二応接室

## 教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	日 暮 美智子

## 出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐 (書記)	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

## 1. 教育長開会宣言

## 2. 署名委員の指名 片岡委員、日暮委員

## 3. 前回議事録の承認

## 4. 教育長報告

### 主催事業等

#### ○10月18日 2023成田市青少年音楽祭について

今年度は市内小学校17校が参加して、成田国際文化会館で開催されました。参加した学校の演奏は、器楽が1校、ミュージカルが1校、他は皆、合唱でした。コロナ禍の3年間は器楽演奏が一時的に中断されていた時期でもあり、この間に先輩から後輩へと引き継ぐべき器楽演奏が途絶えてしまったとも考えられ、残念です。また、以前は中学校も参加していたのに、今年も参加した学校はありませんでした。何のための音楽祭なのか、主催者側も参加者側も今一度振り返ってみる必要があるのではないかと思います。小学生が中学生の演奏を聴いて感じることで、中学生が小学生のひたむきな取り組みから感じることで、互いの思いを共有し合うことで数値では表せない「感性」を養い、このことが音楽に対する興味関心をさらに深め、互いの意欲を高め合うことにつながるのではないかと思います。また、これまで、第2部会音楽発表会参加のための、準備段階のような捉え方をしていたと思われる各小学校の音楽に対する態度を再考する必要もあると思いました。この行事の実施時期を含めた内容の検討を学校と主催者が一緒になって考えていくことが大切だと感じた次第です。

#### ○10月22日 明治大学・成田社会人大学2課程共通フィールドワークについて

年に一度のフィールドワークは、実際に明治大学に行き、キャンパスの雰囲気を感じる中で講師の先生の講義を受講するだけでなく、現役大学生の発表なども参観するなどして、学生生活を満喫させてもらえる日でもあります。この日はちょうど明治大学のホームカミングデーとなっていて、大学では現役学生たちがたくさん催し物を披露してくださいました。参加された明治大学・成田社会人大学の学生の皆さんは、午前中の講義を受講した後は、それぞれ思い思いに行動され、良い体験をされてきたようです。明治大学との交流は今年で28年目を迎えています。今後もますます交流を深め市民の学習機会の確保に努めてまいりたいと思います。

### 市議会

○9月27日 令和5年9月定例会について

9月の教育委員会会議で既にご報告した9月定例議会でしたが、この日が最終日で、議案決議が行われ、全議案とも全会一致もしくは賛成多数で可決いたしました。

**その他**

○10月2日～4日 令和5年度成田市職員選考委員会（面接試験）について

3日間にわたって、行政職上級と図書館司書、保育士を採用するための最終面接を行いました。難関を突破して最終面接まで進んでこられた方々ですので、各個人に大きな差があるわけではありませんが、採点の基準はありますので、あくまでもこれに沿って評価をしていきます。ただ、それだけでなく面接では人柄も現れますので、この人だったら一緒に充実した仕事ができそうだ、という方に注目して行きました。既に選考結果は出て、受験された方には合否の通知が届いているものと思いますが、新年度には、合格通知を頂いた方々が全員元気に入所されますことを期待したいと思います。

○10月5日 千葉県立下総高等学校自動車部 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2023 第42回全国大会優勝報告会について

本田宗一郎杯エコマイレージ大会、高校の部で7連覇を飾った下総高等学校自動車部の皆さんの表敬訪問を受けました。しかも今回は1、2フィニッシュを飾る素晴らしい成績を収められました。今回のチームは3年生が一人もおらず、1年生と2年生のチームで構成されていたにもかかわらず、この素晴らしい成績を獲得したわけで、本当にすごいことだと感じました。ガソリン1リットルで2,105.226Kmという記録は、ちょっと想像できないほどの数値ですが、生徒たちはまだこの数値には満足していない様子で、さらに上を目指して頑張る意気込みでした。顧問の先生がおっしゃるには、下総高校では生徒が主体の車体制作を続けており、先生はできる限り口を出さない方針だとか。そのため先輩が来て後輩たちにアドバイスする伝統が出来上がっているようです。あくまでも勝つためにこの自動車部があるのではなく、生徒が自分で考え、試行錯誤を重ねて良いものをつくるという、いわゆる「ものづくり」を通して生徒を育てる方針が貫き通されているとのことでした。「トライ&エラーを重ねて出来上がったものは偶然できたのではなく必然である。」と、おっしゃっていた顧問の先生の言葉も印象的でした。

○10月6日 令和5年度第4回成田市副校長・教頭研修会について

先だって県内の教員が不祥事を起こし、県教育委員会から懲戒免職の処分を受けたことをこ

の会議で改めて伝えたいので、その教員からの手紙の一文を紹介し、悔やんでも悔やみきれない思いと、残された家族、何よりも被害にあわれた方のご家族の思いを感じてもらえるよう、言葉を選んで話をさせてもらいました。

#### ○10月7日 第12回成田スポーツフェスティバルについて

コロナ禍以来、これまでの運動会形式から体験型スポーツへと参加対象者の幅を広げ、誰でも気軽に楽しめる内容に変えたこのフェスティバル。まだ正式な発表は伺っていませんが、今年度は参加者がさらに増えたような印象を持ちました。私も体育館では、卓球のストラックアウトやバスケットボールのフリースロー、さらには体力測定などを体験させてもらいました。参加者の中で特に子どもたちに人気があったのは、スポーツクライミングでした。実際にスポーツクライミングの選手をゲストとして迎え、模範演技なども見せてもらいました。選手にとってはごく当たり前のことかもしれませんが、見ていた私たちには、まさに「あっと」驚く離れ業に見え、衝撃を受ける場面もありました。同様に陸上競技場で行われた各種スポーツの体験ではそれぞれのスポーツの現役選手や元プロ選手などがゲストとして招かれ、参加者、特に子どもたちにわかりやすく指導されている姿が印象的でした。何よりも、参加者だけでなく指導者にも笑顔があふれ、楽しく過ごせているように伺えたことが良かったと思いました。

#### ○10月7日 成田市民文化祭2023短歌大会について

今年は中央公民館で短歌大会が開催されておりましたので、表彰式に間に合うようにこの会に参加しました。今年応募された歌は21選。その中から、市長賞、実行委員会委員長賞、市議会議員賞、教育長賞、文化団体連絡協議会長賞が選ばれ、それぞれ表彰を行いました。ここ数年コロナの影響でこの会が中断されることがありましたが、昨年度から再開されているこの短歌大会。昨年も、今年も感じるのは、この歌は高齢者が詠んだ歌だとすぐに分かる歌が多くなってきたこと。参加者のほとんどが高齢者ですからそれは無理のないことだと思うのですが、それでも、あまり年齢を感じさせることのない歌を詠んでほしいと願っているところではあります。

#### ○10月8日 もりんぴあ秋の芸術祭「成田の書・十人展」について

もりんぴあこうづ開館10周年を記念して開催された「成田の書・十人展」において、席上揮毫を行うので是非来館してほしい、とのお誘いを受け、参加してまいりました。席上揮毫は、全国規模の大会で内閣総理大臣賞や文部科学大臣賞などを受賞したことのある、公津の杜小学校6年生の 篠原 朝陽さんと書家の 森山 南鶴さん、板垣 洞仙さんの3人の皆さんが、周

囲をぐるりと取り囲むように来館者が見守る中で行われました。とりわけ、静まり返った大勢の観客の前で最初に揮毫した篠原朝陽さん。まだ小学校6年生とは到底思えない落ち着いた態度が印象的でした。篠原さんが最初の一筆を下ろしてから書き終わるまでの間、息を殺して見守っていた観衆から書き終えた瞬間に大きな拍手が沸き起こりました。書家のお二人は当然ですが、こうした環境の中でもしっかりと自分の良さを出せる小学生がいることが本当に素晴らしいと感じました。

○10月11日 JICA海外協力隊の派遣前表敬訪問について

JICAで3年間ブラジルに派遣が決まった、本市在住の 芦田 園美さんが、派遣前にご挨拶のため来庁されました。芦田さんは現在日本テレビの番組制作会社にご勤務されているとのことでしたが、年齢は既に59歳。会社では派遣期間終了の3年後は、芦田さんも定年は超えてしまいますが、再び仕事ができる環境を用意することを約束してくれたとのこと。ブラジルでは現地の方々に日本語を学べる環境を整えるためのコーディネートの役割を果たしてくることでした。高い志を持った方がこうして世界に出ていくことは本当に素晴らしいことです。無事に役目を果たしていただけることを願っております。

○10月11日 成田市・国際医療福祉大学地域連携協議会について

毎年、大学と本市が相互に主催者となり、互いの連携を進めるための協議を行っているこの協議会。今年度は成田市が主催で行われました。これまでの連携事業について、また、今後の連携の在り方について、さらには互いに相手側への要望を出し合うなどしている協議会です。大学から本市には、グラウンドや体育館の用地提供を強く要望されており、本市もその対応に鋭意努力しているところですが、結果的に未だにその場所が定まっていないというのが、現状です。また、これも以前から言われていたことですが成田病院の駐車場用地もさらに拡大したいという要求も出ています。どれも簡単に解決できるものではありませんが、今後双方にとって少しでも良い方向に進んでいければと思っています。

○10月13日 十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業について

市川團十郎白猿の襲名披露巡業として、国際文化会館で歌舞伎の披露がありました。團十郎の表現力の素晴らしさは言うまでもありませんが、伝統の歌舞伎を地元で身近に見られる機会はなかなか無いものです。それだけに、できればもっと大勢の方に見ていただけるような配慮があれば、と感じた次第です。

○10月14日 第29回成田空港周辺中学生英語スピーチコンテストについて

公津の杜、「もりんぴあこうづ」で成田空港周辺の中学校生徒を対象にした英語スピーチコンテストがありました。一次審査はビデオ収録したもので行ったそうですが、参加者は1年生暗唱部門18校、2年生暗唱部門20校、スピーチ部門17校から各1名の参加があり、この日の二次審査に進んだのは、それぞれの部門で7名ずつでした。本市内の学校からこの二次審査に進んだのは1年生3名、2年生4名、スピーチ部門3名の計10名でした。このうち入賞したのは2年生で1位と3位に、スピーチ部門で3位になった生徒の3名でした。それぞれの発表を聞いていて感じたのは、皆さん相当にハイレベルであること。普段から随分と努力されているのだろうな、ということでした。ただ、審査の基準が曖昧に感じられ、2名の審査委員がどのような判断をしてこの日の入賞者を決めたのか最後まで分かりませんでした。特に審査委員の方の最後の講評でも、何が良くて、何が悪かったのか、生徒個々にどのような違いがあったのかなど、明確には示されなかったことが少し残念でした。

○10月16日 令和5年度千葉県教育庁北総教育事務所指導室訪問について（公津小）

この日の指導室訪問にはお二人の教育委員さんもお見えになっておりましたので改めて私からご報告する必要もないかもしれませんが、授業中の子ども達の素直な反応が数多く見られ、心地よい気持ちにさせられました。参観された教育委員さんで何かご感想があればこの後お聞かせください。

○10月18日 オールジャパンベースボール中等部2023全国大会準優勝報告会について

成田選抜チームとして全国大会に参加した野球チームの皆さんが予選リーグを勝ち上がり、決勝戦まで進んで惜しくも敗れたものの、見事準優勝という快挙を成し遂げました。この日市役所を表敬訪問してくださった皆さんは市内の各中学校の野球部から選抜された選手で、とにかく明るいこと。そして選抜チームとは思えない仲の良さを感じ、驚きました。個々の選手の力が優れていたのはもちろんですが、こうしたチームの雰囲気が決勝戦まで進んだ力になったのかもしれない。今後もこの経験を生かして新年度から始まる高校生活を充実させていってほしいと思いました。

○10月20日 令和4・5年度千葉県小中学校体育連盟印旛支部・成田市教育委員会指定保健体育科公開授業研究大会について（成田中）

この日の公開研究会には3人の教育委員さんがお見えになっていましたので、それぞれの皆さんから後ほどご感想をいただきたいと思いますが、私からは、とにかく素晴らしかった、という思いを伝えたいと思います。授業も、研究発表も子どもと教師が一体となって作り上げてきたという印象を持ちました。指導された先生方、そして頑張った子ども達を誇りに思います。

#### ○10月25日 教育長校長合同会議について

多古町コミュニティプラザ文化ホールで開催されました。教職員の年度末人事異動に関する内容が中心の合同会議ですが、会議というよりむしろ教育事務所からの伝達・指導といった意味合いが強い内容の「会議」です。ステージ上に教育事務所の幹部が並び、北総管内の全ての学校の校長と管轄の教育委員会の教育長、学校教育主管課長が客席に座ることから、校長が教育事務所からの伝達に対して、挙手して発言を求めるのは勇気のいることです。まして、教育事務所説明の最後に不明な点は教育委員会を通じて質疑を行うように、とされているわけですから。

また、この日は、会議の前に県教育委員会の荒金危機管理官から不祥事防止に向けた取り組みに関する指導があり、続いて事務所長からも同様の指導、さらには会議の最後に管理課長からも同様の指導がありました。というのも今年度、県教職員の懲戒処分案件が管理責任を除いた件数で昨年度9件であったものが21件に増えているのですから、大変深刻な問題です。他人ごとではありません。県教育委員会の危機感が伝わってきました。

ところで人事異動に関する説明の中で、年度初めに欠員補充講師に担任をさせない様に、との指導がありました。実はこのことで私から質問させていただきました。教員不足が深刻で、管理職が学級担任をしている現状もある中、欠員補充講師に担任をさせないというなら、年度初めには定数分をすべて正規教員で配置できるように教員の確保ができていますか？との質問です。できるだけ努力するとの答弁でした。実は学校現場は現状の定数でも学校運営がぎりぎりの状況です。誰が担任をすとかの問題ではなく、ぎりぎりの定数で余裕がないのです。だから、不祥事が起こりやすい土壌になっている、とも言えます。そういう現状を訴えたくて質問させていただきました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：公津小学校の指導室訪問の感想から述べさせていただきます。2年生のクラスでは、担任の先生が手づくりの教材を駆使して授業を展開されておりましたが、児童の反応が弱かったので、公津小全体がそのような状況なのかなと心配しました。ところが、1年生のクラスでは全く状況が異なり、担任の先生と子どもたちは、とても良い関係を築いておられました。授業中、モニターが映らないことがあったのですが、その状況に子どもたちからは「テレビ頑張れ」と声上がり、無事に映ると「ああ良かった」となったりと、そのような一連のやりとりがとても可愛らしく感じたところでした。全体的には教室も綺麗で、良い教育環境であることを確認できました。

成田中学校での公開授業は、本当に素晴らしいの一言で、先生と生徒の距離感も良く、ICTを駆使しながら自分たちで考え工夫しているという姿を見ることができました。研究発表では、データもきちんと整理されており、この内容であればどこへ出しても恥ずかしくない発表であるなと感じました。

片岡委員：私も公津小学校の指導室訪問に参加させていただきました。単学級の学年がほとんどで、1年生から6年生まで一緒に自然豊かな環境で育ってきた子どもたちが集中して授業に取り組んでいる様子を見ることができました。5年生の授業ではALTの先生がとても明るく、教育長と私も指名され英語でやりとりをすることとなりましたが、なんとか答えることができました。

どのクラスも明るい雰囲気、先ほど佐藤委員からもありましたが、反応が薄いクラスもありましたが、全体的に明るい教室で、学びに集中しているという印象でした。

成田中学校の公開授業では、子どもたちが工夫して創作ダンスに取り組んでいる様子を見ることができました。さらに、タブレットを固定カメラにして活用していたりと、楽しんで授業に参加しているようでした。先生もとても明るく皆の前でダンスをされていました。

また、発表までの流れを聞かせていただき、先生方がこの日のために準備をされ、最後の発表の日まですごくご苦労されたことが分かりました。

とてもよい発表でした。



日暮委員：私も成田中の公開授業に参加させていただきました。子どもたちがグループ内で男女が分け隔てなく教えあったり、にこやかに踊ったりする姿にとても感動しました。

最後のリーダーの発表は、体育館の後ろにいてもしっかり聞こえましたし、とても整理された言葉で、これは体育の授業に関わらず、子どもたちの成長に必要なことであって、すごく大事なことだと思いました。

その後の研究発表で、ここまで来るには最初はずまずいたというところから、そういう裏付けがあつてからの今日だったのだなと感じました。

別件ですが、成田ケーブルテレビで、豊住小の小規模特認校について放送されておりました。行ってみたいと思うような授業展開が紹介されておりましたし、他市でもやっていると思いますが、豊住小では教育委員会からも支援を受けながら、とても良い形で進んでいるのではないかなと感じました。

それから別件ですが、広報なりたに、「なりたの五つ星給食レストラン」について掲載があり、こういうこともやってくださっているのだなと分かりました。私も参加しようかと考えましたが、1組減ってしまいますので、申し込みはしませんでした。11月には、いろいろな方に成田の給食を召し上がっていただければなと思いました。

また、「秋の博物館めぐり」も実は行ってみたいなと思いましたが、日にちが合いませんでしたので、参加はできませんが、秋の栃木ということで、きっと抽選になるのではと感じています。当日天気もよく皆さん参加できることを念じております。

## 5. 議 事

案件等なし

## 6. その他

特になし

## 7. 教育長閉会宣言